

生涯学習事業実践事例集

～自治振興区で行う生涯学習事業～

(令和4年度事業)



令和5年12月
庄原市教育委員会
(生涯学習課)

はじめに

庄原市では、平成17年3月31日の市町合併以降、21公民館において生涯学習事業を実施してきました。平成19年度からは、公民館を順次自治振興センターへ移行し、現在22の自治振興センターにおいて、指定管理者である自治振興区により生涯学習事業を推進しています。

この事例集は、各自治振興区において実施された生涯学習事業の中から、効果の高かった事業や特徴的な事業を、各自治振興区により選定し作成いただいたものです。

目次

各施設実践事例書

庄原地域

庄原自治振興区	【子ども物作り教室】	1
高自治振興区	【サツマイモの苗植え、収穫】	2
本村自治振興区	【本村グラウンド・ゴルフクラブ】	3
峰田自治振興区	【青嶽山・里山公園環境整備】	4
敷信自治振興区	【産直ふれあい市】	5
東自治振興区	【刈払機取扱作業安全衛生教育講習会】	6
山内自治振興区	【ジャンプ】	7
北自治振興区	【科学教室（星空観察会）】	8

西城地域

西城自治振興区	【寄せ植え講座】	9
八銚自治振興区	【こども夏休み教室】	10

東城地域

東城自治振興区	【みのりの体験プロジェクト】	11
小奴可の里自治振興区	【小奴可の里・散歩でプラス】	12
八幡自治振興区	【女性大学】	13
田森自治振興区	【ママ友交流サークル】	14
帝釈自治振興区	【愛鳥活動】	15
久代自治振興区	【久代でげんきシリーズ】	16
新坂自治振興区	【軽スポーツ大会】	17

口和地域

口和自治振興区	【口和探訪「宮内編」】	18
---------	-------------	----

高野地域

上高自治振興区	【健康ストレッチ教室】	19
下高自治振興区	【食の集まり場「きらく食堂」】	20

比和地域

比和自治振興区	【比和の民族と歴史 講演会】	21
---------	----------------	----

総領地域

総領自治振興区	【運動習慣プラスワン】	22
---------	-------------	----

自治振興区連絡先一覧		23
------------	--	----

事業名		事業テーマ	
子ども物作り教室		物作りの体験を通じた交流	
事業費			
97,040 円（事業費の内訳：報償費 35,000 円・需用費 58,764 円・通信費 3,276 円）			
事業の概要			
庄原自治振興区内の2つの小学校の児童を対象に地域内の講師を招聘し、「物作り」を体験する各種の講座を開設した。			
事業の目的			
地域内の児童が自治振興センターにおいて地域の人（講師を含め）との繋がりの中で、本来子ども達が持っている「物をつくる発想力・創造力」を発揮して一つの物をつくる体験を通して個性を伸ばすとともに他学年・他校との交流及び世代間交流を図る。			
対象者		参加人数	
地域内の2小学校の児童		延べ61人	
開催期間		実施回数	
8月1日（月）～1月29日（日）		7回 【一回当たり所要時間：120分】	
事業の内容			
①消しゴムはんこ教室		2回	
②BOXアート教室		2回	
③フラワーアート&ボンボン羊を作ろう		3回	
特徴的な内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが興味を持ちやすい内容を企画した。 ・子どもが、個々の発想力・創造力を発揮できる内容とした。 			
成果・課題等			
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが見本を参考にして、個々の発想力・創造力を十分発揮して作品を制作した。 ・毎回とも多くの参加希望があり、同一内容を複数回実施する状況となった。 （子どもたちの感想） <ul style="list-style-type: none"> ・家族のみんなに見せると嬉しそうに感想を返していただき、参加してよかった、とても楽しく、また参加したい旨の感想を頂いた。また、中学生になっても参加できないかとの意見も頂いた。 ・できるだけ多くの子どもたち参加体験できる開催方法を検討する必要がある。 			
写真			
			
BOXアート教室		消しゴムはんこ教室	
			

事業名	事業テーマ
サツマイモの苗植え、収穫	世代間交流

事業費

18,063 円（事業費の内訳：需用費 18,063 円）

事業の概要

高小学校1.2年生と悠遊会会員が6月にサツマイモの苗を植え、10月に収穫作業を行いながら交流を深める。収穫したサツマイモは11月に行われる「狼煙上げ」で焼芋にして参加者に提供している。

事業の目的

さつまいも作りを通して児童と会員の交流を深める。会員の中には日頃子どもと接する機会のない会員もあり、子供との交流を楽しみにしている。

対象者

高地区住民、高小学校1.2年生

参加人数

52人

開催期間

6月3日（金）～11月23日（水）

実施回数

5回

事業の内容

6月3日（金）に高自治振興センター横の畑にて高小学校1.2年生と悠遊会会員が約200本のサツマイモの苗を植える作業を行った。収穫までの水やり等の管理は悠遊会会員が行い、10月24日（月）サツマイモの収穫を行った。収穫したサツマイモは11月23日（水）に行われた「狼煙上げ」までの間天日干しし、悠遊会会員が狼煙上げの際、焼芋にして参加者へ提供した。

特徴的な内容

小学生と地域住民の世代間交流

成果・課題等

大きなサツマイモが沢山収穫でき、1.2年生からは「大きなサツマイモが収穫できて嬉しかった」などの感想が聞けた。

写真

事業名	事業テーマ
本村グラウンド・ゴルフクラブ	健康づくりと地域住民の交流

事業費

6,000円（事業費の内訳：報償費6,000円）

事業の概要

毎週月曜日に2時間程度実施。春と秋の2回に本村地区グラウンド・ゴルフ大会へ参加。その他にも他地区で行われる対外試合や招待試合にも参加されている。

事業の目的

身体を動かし元気よく健康づくりに努める。また、住民同士で意見を交わすことや、情報交換することで地域の状況把握ができる。コミュニケーションの場をつくり、楽しさの輪を広げる。

対象者

本村地区・上谷地区住民

参加人数

延べ348人

開催期間

4月4日（月）～3月27日（月）

実施回数

48回

事業の内容

- ・毎週月曜日に本村自治振興区グラウンドで実施。【天気が悪かったり、冬の間は中止となることもある】
- ・1ゲームを8ホールとし、春秋は2ゲーム、夏は1ゲームで回る。
- ・年2回の子どもから高齢者までが自由に参加できる地元大会を開催し、世代間交流を図る。
- ・総領などの対外試合(招待)を開催される際には参加することもある。また、地域でのグラウンド・ゴルフ大会にも参加されている。庄原市主催の大会等にも鋭意参加している。

特徴的な内容

- ・スポーツを通し、健康増進、住民同士の交流を行い「いきいきした生活」の推進をはかっている。
- ・世代間交流もでき地域住民の把握や高齢者状況の把握などにも役立っている。

成果・課題等

- ・気軽に楽しみながら「健康づくり」「交流の場」ができ、スポーツ推進が図れている。
- ・世代間交流ができ、地域コミュニティの活性化にも役立っている。
- ・在籍者の高齢化が進み、なかなか参加できない方もいる。また、農繁期などになると忙しく参加できないこともあり、参加人数が減っている。
- ・「続けることでフットワークが軽くなり、歩くことや走ることが苦ではない」「出掛けることが楽しいと思えるようになった」など参加者の方の声が寄せられました。

写真

7月3日
本村地区グラウンド・ゴルフ大会



毎週月曜日
グラウンド・ゴルフ練習実施



11月15日
自治振興区連合会主催で行われたグラウンド・ゴルフ大会へも参加しました。

事業名		事業テーマ	
青嶽山・里山公園環境整備		環境整備作業	
事業費			
400,000円（事業費の内訳：需用費400,000円）			
事業の概要			
【里山公園環境整備】 年6回 峰田保育所・放課後子供教室の園児・児童を対象とした世代間交流を実施している里山公園を、区内を4班に分けて年3回の環境整備を実施している。			
【青嶽山環境整備】 風光明媚で四季折々の景観が楽しめ、むかしから地域の方々が守ってこられた青嶽山を区内全域をあげて、年2回登山道および頂上の環境整備を実施し維持管理をしている。			
事業の目的			
青嶽山の環境整備：頂上に登れば眺めも良く、霧の景色も素晴らしい！ 里山公園の環境整備は世代間交流の場として皆さんにその場所が提供出来るように環境を整える事は大事である。			
対象者		参加人数	
一般・区民（男女・高齢者）		延べ304人	
開催期間		実施回数	
5月15日（日）～11月20日（日）		5回	
事業の内容			
峰田自治振興区内のシンボルである青嶽山、世代間交流の場である里山公園の環境整備を行い、皆さんに利用してもらえるように、地域全体で取り組む。			
特徴的な内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・青嶽山（年2回）登山道・頂上の草刈り、溝掃除など上から下まで整備。 ・里山公園（年3回）公園敷地内の草刈りを実施。 			
成果・課題等			
<ul style="list-style-type: none"> ・青嶽山・里山公園の環境整備も地域のつながり、世代間交流の場となり、それには環境を整えることは、とても大切なことであり大事な事業になっている。 ・人口減少・高齢化も進む中で課題点も多くなりますが、これからも実施していきたいと思う。 			
写真			
青嶽山環境整備  		里山公園環境整備  	

事業名		事業テーマ	
産直ふれあい市		余剰野菜の販売と交流	
事業費			
10,000円（事業費の内訳：需用費10,000円）			
事業の概要			
振興区女性部が声掛けをして余剰野菜の提供を求め、市を開き販売をする。			
事業の目的			
<ul style="list-style-type: none"> ・自家消費できない野菜等を持ち寄り販売することで、欲しい方が安価で購入でき、廃棄も減少する。 ・対話することで交流ができる。 			
対象者		参加人数	
敷信地区内外		100人	
開催期間		実施回数	
7月23日（日）		1回	
事業の内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・振興区女性部と広報紙で区民に呼びかけ余剰野菜等を提供してもらう。 提供された野菜等に値段をつけ販売。 立ち寄られた方との対話もでき交流を深める。 			
特徴的な内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・女性部主催の継続事業。 毎度、珍しい物の提供があり、開店と同時にすぐに売れる。 コロナ対応として消毒はもちろん、一方通行にして密を避けた。 			
成果・課題等			
<ul style="list-style-type: none"> ・これまで女性部主催の継続事業であったが、コロナの影響で過去2年間開催できなかった。 ・コロナの関係か、提供は若干少なく感じたが、開催を待っておられる方も多く盛況であった。 ・今後はもう少し幅を拡げて多様化し、若い人も立ち寄られる「ふれあい市」になればと思う。 			
写真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

事業名		事業テーマ	
刈払機取扱作業安全衛生教育講習会		知識と技術の向上	
事業費			
172,580円（事業費の内訳：参加者負担受講料167,200円・需用費5,380円）			
事業の概要			
林業・木材製造業労働災害防止協会 広島県支部の講師をお招きし、講習会を実施。			
事業の目的			
農作業等で刈払機を用いた作業は多くあるが、講習を受ける機会も少ない為、知識と技術を身につけ、安全に作業できるよう講習会を行う。			
対象者		参加人数	
東地区民		16人	
開催期間		実施回数	
7月27日（水）		1回	
事業の内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・刈払機等を使って作業を行う方々の知識や技術向上を目的として、林業・木材製造業労働災害防止協会 広島県支部の講師をお招きし、「刈払機取扱作業安全衛生教育講習会」を行う。 ・草刈作業中の災害について事例を学び、未然防止に役立てる。 			
特徴的な内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・修了者には「刈払機取扱作業安全衛生教育修了証」が交付される。 ・実際に刈払機を分解、点検し、安全に作業できる知識を身につける。 			
成果・課題等			
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等生活支援事業「おまかせネット東」で草刈の依頼が多くあり、講習会で学んだことを生かし、けがの未然防止に役立てて、安全に作業していただきたい。 ・改めて、基本的な部分から学ぶことができる良い機会となった。 			
写真			
			

事業名		事業テーマ	
ジャンプ		地域の人ともっとつながる（皆が主役に）	
事業費			
30,000円（事業費の内訳：需用費30,000円）			
事業の概要			
趣味の仲間が集まって情報交換をしたり学びあったりして人とつながれるサロン			
事業の目的			
学びあいの場を通して自己有用感、達成感等を感じ、人間関係をより豊かにする			
対象者		参加人数	
全区民		7人	
開催期間		実施回数	
4月1日（金）～3月31日（金）		月2回	
事業の内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人ともっと繋がりたいという思いのもと、集った仲間たちで立ち上がったサロン。 裁縫、編み物など手仕事を中心に取り組みたいものを持ち寄り、教えあい、学びあう中で、仲間とのつながりも深まっている。また、野菜作り、花づくり、料理のレシピ等得意分野でお互いの良さを知り、認め合う関係も育っている。 			
特徴的な内容			
活動のことを知っていただくために地域行事の折には、作品の展示も計画している。			
成果・課題等			
月2回の活動を楽しみに集まることができている。何もできないから入れないではなくて、やれることを展示等を通して、自分もこれなら入ってみようと思えるような会にしていきたい。			
写真			

事業名		事業テーマ	
科学教室（星空観察会）		星空観察	
事業費			
5,000円（事業費の内訳：望遠鏡借上げ料 5,000円）			
事業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・DVD観賞による星座観察の学習につづいて、天体望遠鏡の扱い方説明の後、望遠鏡と肉眼による星座観察を行う。 			
事業の目的			
<ul style="list-style-type: none"> ・星空を見上げ、「奇麗だな」で終わるのではなく、星はどのようにしてできたのか、どうして動いているのか、等々宇宙に興味を抱くことができればいいな。 ・星座の名前や流星群などが分かってくると星空を見る目も変わってくる。 			
対象者		参加人数	
北地区の子供と大人		13人	
開催期間		実施回数	
令和4年8月10日		1回	
事業の内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・DVD観賞による星座観察の学習 <ul style="list-style-type: none"> ・季節の星座、明るさと色、星の動き、地球の自転と公転、星座早見盤の使い方、主な流星群、月の観察惑星の特徴など。 ・天体望遠鏡を使っての観察 			
特徴的な内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に望遠鏡をお借りし、講師役もお願いしている。 			
成果・課題等			
<ul style="list-style-type: none"> ・毎年実施している。継続実施することにより興味を持つ子供も増えてくる。雨天でもDVD観賞は行っている。 ・天候に左右されるので残念な年もある。 			
写真			
     			

事業名		事業テーマ	
寄せ植え講座		西城を花いっぱい町にしよう！	
事業費			
5,100円（内訳：報償費5,100円）			
事業の概要			
しょうばら花会議理事長 齋木 義伸氏を講師に迎え西城町内の花会議のメンバーにお手伝いをしていただき、寄せ植え講座を実施する。			
事業の目的			
世代間の交流を目的として、誰もが気軽にできる寄せ植え講座を開催する。			
対象者		参加人数	
西城町内の方なら誰でも参加できる。		講師1人 参加者28人	
開催期間		実施回数	
6月19日（日）		1回	
事業の内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・開催日：令和4年6月19日（日） 13：00～16：00 ・場所：西城自治振興センター 研修室 ・講師：齋木 義伸氏 ・対象者：西城町在住者 20名程度 ・事業内容：寄せ植え講座 			
特徴的な内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・しょうばら花会議のメンバーの補助をお願いする。 ・花の種類ごとの植付けや育て方のコツや肥料の選定の仕方を学ぶ。 ・自分の好きな花を選んで植付けをするので、誰でも参加できる。 ・寄せ植えを通して参加者との交流を図る。 			
成果・課題等			
<ul style="list-style-type: none"> ・初めての参加者にも分かりやすいお話しで、皆さんきれいな寄せ植えを完成することができた。 ・参加者からは、「是非次回も参加したい」との声が多くあった。 ・参加者が女性ばかりなので、次回は男性方や小中高生にも参加してほしい。 ・世代間ではないが、交流は十分にできた。 			
写真			
			

事業名	事業テーマ
こども夏休み教室	こどもと子育て世代の交流の場づくりとしての「お菓子づくり教室」

事業費

17,697円（事業費の内訳：講師料5,100円、消耗品費12,597円）

事業の概要

地域の自然を活かした「こどもと子育て世代」の体験と交流の場づくり。

事業の目的

夏休みにこども達と保護者が楽しみながらお菓子づくりを学ぶ。

対象者

幼児・児童・保護者

参加人数

16人

開催期間

8月6日（土）

実施回数

1回

事業の内容

夏休みにこども達とその保護者を対象とし、地域のパティシエを講師にブルーベリーを使った「お菓子づくり教室（ブルーベリーソースのパンナコッタづくり）」の開催。

特徴的な内容

・令和3年度に自治振興センター内へ植付けたブルーベリーが収穫でき始めたため、八銚のブルーベリーを使ったお菓子づくり。

成果・課題等

年々高齢化が進んできており、事業内容やその参加対象はほとんど高齢者となってきました。そのため少子高齢者化で人数の少ないこども達やその保護者向けの取り組みが手薄になっていたとの反省から、次世代を担う子供達や保護者が参加し、楽しみながら学べる事業を計画・展開しようとの取組でしたが、「また参加したい」「こども・保護者同士で交流ができて良かった」とのお声をいただき、まずは成功裏に実施できたと思います。

写真

事業名		事業テーマ	
みのりの体験プロジェクト		大豆の種まき・大豆の収穫・豆腐づくり・味噌づくり体験	
事業費			
114,903円（事業費の内訳：報償費16,237円・借上料30,000円・需用費68,666円）			
事業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> 大豆の種まきから収穫、加工までの流れを食品が生産される仕組みや食文化などについて理解を深める。 収穫の喜びと食生活の大切さを学ぶ。 			
事業の目的			
日本の食卓には醤油や味噌・納豆・豆腐などの大豆加工品が欠かせません。大豆の育成から収穫・加工までの流れを学び、食品が生産される仕組みや食文化などについて理解を深める。そして収穫の喜びと食生活の大切さを学ぶことを目的とする。			
対象者		参加人数	
東城町内の小中学生		87人	
開催期間		実施回数	
4月1日（金）～3月31日（金）		6回	
事業の内容			
<ul style="list-style-type: none"> ①大豆の種まき体験 大豆の育て方について学習後、講師指導のもと、種（豆）を植えた。 ②大豆の収穫体験 大豆を茎ごと畑から抜き、ビニールシートに並べ踏むことで大豆がさやから出てくる。昔の唐箕機を使い不要なものをだまかに取り除き選別した。 ③豆腐づくり体験 収穫した大豆をふやかす→ミキサーでつぶす→煮込む→漉す（豆乳とおからに分ける）→豆乳を温めてにがりを入れる→箱に入れ水を切る→豆腐の出来上がり。 ④味噌づくり体験 ふやかした大豆を煮て柔らかくする→すりつぶす→塩と麴と合わせ手でしっかりこねる→味噌球をつくり（空気を抜く）→容器に投げ入れる。半年から1年寝かす。 			
特徴的な内容			
大豆の種まきから収穫し、豆腐・味噌づくりの大豆の加工品をつくり、収穫の喜びと食生活の大切さを学ぶ。			
成果・課題等			
<ul style="list-style-type: none"> 大豆の種まき・収穫の作業と豆腐・味噌づくりの加工品の作業が重労働であることを体験した。 収穫の喜びと食生活の大切さを学んだ。子供の人口が減って参加者が少ない。 			
写真			
①大豆の種まき体験		②大豆の収穫体験	
			
③豆腐づくり体験		④味噌づくり体験	
			

事業名	事業テーマ
小奴可の里・散歩でプラス	体育・スポーツ事業推進

事業費

128,356円（事業費の内訳：モニター謝礼（ほろかポイント）112,650円・消耗品費（歩数計10個）15,706円）

事業の概要

3か月間のウォーキング行事。参加者は期間後に歩数記録票とアンケートを自治振興区へ提出する。自治振興区は1日当たりの平均歩数に応じてほろかポイント、またはなみかポイントを参加者へ付与する。基本の歩数ポイントの上限は3か月で2,500ポイント。これに100ポイント程度のボーナスポイントが付く。開催が困難になった地区運動会の代替事業。

事業の目的

健康づくりが主な目的となる。1日限りの運動会のような集中型イベントはコロナ禍で困難になるなか、参加者は3か月を自分のペースで続けることができる。他人との競争もなく、時間と場所を分散しても1つの行事に参加しているという充実感で続けられる。

対象者

小奴可地域に在住の方

参加人数

46人（期間後にアンケートの提出があった方）

開催期間

7月11日（月）～ 10月10日（月）

実施回数

1回（3か月）

事業の内容

参加コースは、純粋にウォーキングを測る「さんぽでコース」と、1日の全歩数を測る「くらしでコース」の2つ。計測はスマホアプリや歩数計を使う。以前に自治振興区で発行の地域内「お宝ガイドブック」掲載のポイントを訪れたり、健康教室に参加するとボーナスポイントが加算される。

特徴的な内容

事業のモニターとして、毎日の記録をつける事と、感想の提出を参加条件としている。

成果・課題等

参加者の記録、アンケートを集計したところ、3か月を自分のペースで続けられたこと、自分の運動量を数値化して理解すること、それが健康につながる喜びの意見が寄せられた。総じて散歩の効果を再発見したという感想や、今後も開催を望む意見が占めた。

写真

【小奴可の里・散歩でプラス】モニター100人・大募集！実施要項
 小奴可の里自治振興区では健康づくりの促進に、散歩を通して「ほろかポイント」がもらえる行事を始めます。今年度は3か月を期間にして1日あたりの平均歩数でポイントを使用します。実施要項をご確認いただきモニター（健康観察）としてご参加ください。

1. 目的 『小奴可の里・散歩でプラス』で健康づくりの応援はかかってるよ！

2. 対象 小奴可の里自治振興区内にお住まいで18歳以上の方
 モニター募集数100人、先着順。

3. 実施期間 令和4年7月11日～10月10日

4. コースは2つ（※歩数を測ります。どちらもポイント率や上限は同じ。）
 ①さんぽでコース・・・散歩で測るコース。散歩そのものを測るという方針。②くらしでコース・・・暮らしや仕事など、散歩以外で測るコース。散歩を測る以外にもポイントが加算されます。

5. ポイントは3種類
 ・モニターポイント・・・モニターになると200ポイント。実際に参加が条件です。はかってくるよ！
 ・歩数ポイント・・・3か月間の1日あたりの平均歩数に応じてポイントで上限があります。下の表、上限は、500ポイントですが参加状況で変わる場合があります。
 一日平均歩数の例
 ポイント率（予定） ほろかポイント（予定）
 2,000歩 → 1歩1ポイント → 2,000
 2,500歩 → 1歩1ポイント → 2,500
 3,000歩 → 2,500ポイントが上限 → 2,500

③お楽しみポイント・・・事務局がお知らせするイベントに参加したときなど。
 ※例）健康教室に参加や「小奴可の里お宝ガイドブック」掲載のお宝を探すなど。

6. モニターにしてください
 この行事に期間中参加して、アンケートにお答えください。

7. モニター参加方法
 (1)申し込み・・・参加無料、先着順です。申込締切りは、令和4年7月8日（雨印有期）。小奴可の里自治振興区に、申込書、電話番号、ファクスや電子メールなどで申し込みください。モニターになった方にはお知らせします。
 (2)散歩を楽しむ・・・このコースとも歩数ポイントは3か月間の1日あたりの平均歩数。散歩を楽しんで無理のないペースで歩きましょう。
 (3)歩数を測る・・・歩数計やスマホの歩数計アプリが便利です。歩数計は事務局で貸し出ししますが数に限りがあります。（歩数計は1,000円程度から消費品があります）
 (4)記録する・・・3か月分の記録用紙をお返しいします。7月11日までに記録用紙が届かなかったら歩数をメモしておいて、記録用紙が届いたときまでご返しいしてください。

(5) ポイントを受け取る
 ①期間終了後、1週間以内に3か月間をまとめた記録用紙とアンケートの回答を事務局に届けてください。両方の提出がないと無効になります。
 ②高料して結果をお知らせします。各ポイントをお付けするのは一度にまとめて10月下旬の予定です。時期が来たらお家でカードを確立してください。
 ③ポイントが付くカードは、ほろかカード、または、なみかカード、参加者本人のカードに限り、カードの番号は記録用紙に記入欄を使用します。

8. 参加者の個人情報について
 今回の『小奴可の里・散歩でプラス』に役立てるよう、広報や発表機会が匿名のコースなどを掲載します。この事業以外に参加者の個人情報を使用しません。

9. 安全について
 歩きやすい服装、靴、履物、体質、天候や交通状況など、安全に心がけて決して無理なようにしましょう。また、任意の参加者が参加する方が強制加入してはなりません。事前に健康診断、健康の悪い状態は控えましょう。

10. その他
 この行事には、庄原市キャッシュレス決済推進協議会から小奴可の里自治振興区活動に提供いただく年間10,000ポイントも活用させていただきます。

11. 申込・送り先・問合せ
 〒729-8502 広島県庄原市津和野内1100-1
 小奴可の里自治振興区事務局
 電話/ファクス 8-0057（800番無料電話対応）

.....切り取り線.....

『小奴可の里・散歩でプラス』モニター参加申込書 令和4年 月 日
 次のとおり申し込みます。

応募番号	住所	（ふりがな）氏名	歳代（性別、年代）	性別	電話番号	コース（どちらかのみ）	歩数計の種類
729- 募集時	()	()	()	()	()	さんぽでコース	○標準
729- 募集時	()	()	()	()	()	くらしでコース	○標準
729- 募集時	()	()	()	()	()	さんぽでコース	○標準
729- 募集時	()	()	()	()	()	くらしでコース	○標準
729- 募集時	()	()	()	()	()	さんぽでコース	○標準
729- 募集時	()	()	()	()	()	くらしでコース	○標準



事業名		事業テーマ	
女性大学		趣味・文化・健康などの教養講座	
事業費			
98,076円（事業費の内訳：報償費 21,000円・需用費 41,881円・借上料 35,195円）			
事業の概要			
会員自らの企画運営による趣味、文化、健康などをテーマとした教養講座			
事業の目的			
会員の教養アップと、会員同士の交流			
対象者		参加人数	
趣旨に賛同する地域の女性会員		延べ107人	
開催期間		実施回数	
6月28日（火）～3月10日（金）		10回	
事業の内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・シルバーリハビリ体操の実践 ・ニュースポーツ（ユニカール）の体験 ・映画（DVD）鑑賞 ・干支のちぎり絵の制作 ・手芸（アフガン編み）の実践 ・介護、医療保険に関する学習 ・研修旅行（転ばない靴下パールスターの見学ほか） 			
特徴的な内容			
会員が、その時に学びたいこと、やりたいことを話し合っって企画することで、楽しみながら続けられている。			
成果・課題等			
<ul style="list-style-type: none"> ・会員が楽しみながら続けられることで、結果として様々な教養を深めることにつながっている。 ・仕事等繁忙のため参加が少ない回もあり、全員がそろって開講することが難しい。 			
写真			
			
			

事業名	事業テーマ
ママ友交流サークル	みんなの子育て支援サークル

事業費

114,118円（事業費の内訳：報償費67,000円・教材費23,470円・借上料8,000円・手数料1,150円・旅費5,000円・消耗品費9,498円）

事業の概要

未就学児のお子さんがおられるお母さん達が、安心して子育てができる環境づくりを進める。

事業の目的

お母さん達が集まり育児に関する疑問や不安、情報などを共有することで、親同士、子ども同士が楽しく交流できるように支援する。

対象者

子育て中のお母さんとお子さん

参加人数

114人

開催期間

5月18日（水）～2月20日（月）

実施回数

9回

事業の内容

- ・1回目紙芝居とお話し会
- ・2回目音楽会と親子遊び「オカリナ演奏会」
- ・3回目赤ちゃん用虫よけスプレーをつくろう
- ・4回目親子で楽しむ「0歳からの音楽会」 ヴィオラ・ダ・ガンバ演奏
- ・5回目フィンガーペイントに挑戦
- ・6回目乳児の食事(庄原市出前トーク)
- ・7回目手づくりアロマハンドクリーム
- ・8回目フラワーバレンタイン「フラワーアレンジメント」
- ・9回目ハンドマッサージで癒しの時間

特徴的な内容

- ・お母さん達が安心して子育てができる環境づくりを進める。
- ・お母さん同士の交流や仲間づくりを支援し、みんなで楽しくサークル活動ができるよう展開していく。
- ・地域の方がボランティアでベビーシッターをする

成果・課題等

- ・地域外からの参加者も多く、交流を深めるとともに、田森地域も知っていただくことができています。
- ・地域の方がボランティア等で積極的に協力していただいている。
- ・参加者からは、色々な内容でいつも楽しみにしている。子どもを安心してみてもらえるので楽しく交流できる。などの声があった。

写真

事業名		事業テーマ	
愛鳥活動		命の大切さを育む	
事業費			
62,700円（事業費の内訳：印刷製本費 62,700円）			
事業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・野鳥の餌を作るために、ひまわりの種を蒔いて育てる。 ・冬には、育てたひまわりや、古米などをいただいて、給餌台に置く。 ・野鳥の挿絵を描き、カレンダーに仕上げ、各家庭に配布する。 			
事業の目的			
<ul style="list-style-type: none"> ・野鳥に興味を持ち、観察力を身につける。 ・愛鳥活動を通して、命の大切さを学ぶ。 ・親子や友達とのふれあいを図る。 			
対象者		参加人数	
子ども会		20人	
開催期間		実施回数	
12月4日（日）		1回	
事業の内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・野鳥のえさになるひまわりの種を蒔いて育てる。 ・12月には、餌かけをする。 ・野鳥の絵を描いてカレンダーに仕上げ、地域内に配布する。 			
特徴的な内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・昭和38年の豪雪で多くの野鳥が餓死したのがきっかけで、帝釈小学校から始まった行事である。 ・帝釈小学校の休校により、平成22年より帝釈自治振興区の事業として、帝釈子ども会を中心に続けている事業である。 ・まほろばの里に設置している給餌台に餌を置き、周りの木にひまわりをつるした。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の観点から、集まってカレンダーの挿絵を描くことができなかったので、各家庭で描いて提出してもらった。 			
成果・課題等			
<ul style="list-style-type: none"> ・カレンダーの野鳥の絵は親子で協力しながら上手に描いてくれた。 ・児童・生徒が減少し、保護者にも描いてもらわないとカレンダーのページが埋まらない。 ・子ども会の行事として、できるだけ続けていきたい。 			
写真			
			
			
			
			

事業名		事業テーマ	
久代でげんきシリーズ		コーヒーを楽しもう教室	
事業費			
36,000円（事業費の内訳：報償費10,000円・需用費16,000円・使用及び賃借料5,000円・通信費5,000円）			
事業の概要			
家で工夫して（美味しく、体にいい、くつろげるコーヒーづくり、空間づくり）			
事業の目的			
家でも外出した気分でもリフレッシュして楽しく、くつろげる空間を作ることによって気分もとても楽しくなり元気に暮らしていくことを目指す。			
対象者		参加人数	
一般		20人	
開催期間		実施回数	
10月26日（水）～11月30日（水）		2回	
事業の内容			
西城町の洗心館の安原克さんを講師にお迎えしコーヒー教室を開催し自分でも喫茶店で楽しめるような味が出せるよう研修を受けた。2回開催し1回目は（美味しく、体にいい、くつろげるコーヒーづくり、空間づくり）を目標に良質な豆を選ぶこと、より良いトリップをおこなうため身近で使える抽出器具を選ぶ他基礎の研修をしながらコーヒーを入れ、楽しみました。第2回目は前回の復習と世界のコーヒー豆の違い自分に合ったコーヒー豆選びを研修した。			
特徴的な内容			
喫茶店に負けない美味しいコーヒーを入れ自分の空間づくりを楽しむ。コーヒーに正解はなく正解は自分たちの中にあることを学びました。			
成果・課題等			
<ul style="list-style-type: none"> ・コーヒー好きの方が集まりより自分にあったコーヒー味を探すことができとても盛り上がった。 ・年に1度は計画したい。 			
写真			
 			

事業名	事業テーマ
軽スポーツ大会	世代間交流

事業費

28,478円（事業費の内訳：需用費（消耗品費）25,358円・役務費（手数料）3,120円）

事業の概要

・本来はボウリング大会による世代間交流を実施しているが、コロナ禍でありこの3年間は行事を中止していた。令和4年度はコロナの感染状況も落ち着いてきたことから、中止ではなく自治振興センターでできるボウリングに似た軽スポーツなどを通して世代間交流を行った。

事業の目的

・地域住民の世代間交流や情報交換の場を提供するとともに、高齢者の孤独化を防ぐことを目的とする。

対象者

一般住民

参加人数

15人

開催期間

3月5日（日）

実施回数

1回

事業の内容

ボウリングに似た軽スポーツとしてビーンボウリングと、モルックというニュースポーツを通して世代間交流を行った。

特徴的な内容

ビーンボウリングは室内で行う高齢者向け軽スポーツであるが、モルックは、本来は屋外で木製の棒を投げて木製の的に当てて倒すゲームである。木製の棒や的の代わりに、少し水の入った500mLのペットボトルで代用することにより屋内でも気楽に行うことができ、高齢者にも簡単に楽しめる軽スポーツとなった。

成果・課題等

・93歳をはじめ後期高齢者5人を含めた高齢者が10人、中学生1人を含めた65才未満が5人の参加があり、皆が競技者一人ひとりを応援して、にぎやかに2つの軽スポーツを楽しむことができ、参加者からは、おもしろくて大変よかったなどの声が聞かれた。

・2つの競技とも得点はパソコン上で記録していくことで始めた。しかし、モルックについては参加者に得点状況が分かった方がよいと思いホワイトボードに書くように変更したが、事前準備ができていないため、十分にはわかりやすいものにならなかった。次回は、得点状況が参加者にわかるように準備したい。

写真

ビーンボウリングの様子



事業名		事業テーマ
口和探訪「宮内編」		歴史と文化を歩いて探る
事業費		
7,200円（事業費の内訳：報償費7,200円）		
事業の概要		
現地を歩きながら、地域の方（庄原市文化財保護審議会委員）から口和の歴史や文化について学ぶ		
事業の目的		
<ul style="list-style-type: none"> ・郷土学習による地域資源の再発掘 ・住民同士の交流 		
対象者		参加人数
主に口和住民		13人
開催期間		実施回数
10月 8日（土曜日）		1回
事業の内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・宮内地域の講和 … 地名の由来、人口推移、神社仏閣、信仰、街道、製鉄関連等の遺跡から見えてくる宮内地域の歴史や文化について話を聞いた。 ・宮内市場のまち歩き … 宮内市場を歩きながら、江戸時代に宿場町として栄えた雲伯路（うんぱくじ）について学び、昭和30年代の地図を見ながら銀行や劇場のあった当時の賑わいについて地域の方から話しを聞いた。 		
特徴的な内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・口和の中から特定の地域を選び、歴史や文化について深掘して学ぶ。 ・文書や記録に残りにくい地域の方の話しを聞きながらまち歩きをする。 		
成果・課題等		
〔成果〕		
<ul style="list-style-type: none"> ・文書や記録に残っていない昭和30年当時の話しを聞くことができた。 ・宮内市場を歩くことで、ゆっくりと風景を見ながら郷土について学ぶことができた。 ・まち歩きをしながら参加者同士が交流することができた。 ・参加者「住んでいても知らないことがたくさんあり勉強になった。」 「普段は車で通りすぎる宮内市場を初めて歩いた。歩きながら見る風景を新鮮に感じた。」 		
〔課題〕		
<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、順番に特定の地域を選び口和探訪を実施していく。 ・特定の地域を選ぶと、歴史や文化についてまとめた資料が少ない。 ・事業中に参加者から集まった新情報をまとめて活用していくことを検討していく。 		
写真		
 		

事業名	事業テーマ
健康ストレッチ教室	ストレッチで健康維持

事業費

58,500円【需用費（消耗品）5,800円/報償費49,600円（3,100×17日）】

事業の概要

- ・コロナ禍で、人とのつながりが希薄化する中で、少人数で実施することで、安心して体力維持と住民同士のつながりができる。
- ・習得したストレッチを参加者が家庭や様々な場面で実施することにより、広く住民の健康維持につなぐことができる。

事業の目的

地域住民の健康維持と、参加者同士の交流を図る

対象者

一般

参加人数

延べ人数86人

開催期間

10月1日（月）～3月27日（月）

実施回数

17回【1回当たり所要時間：45分】

事業の内容

- ・毎週1回継続的に実施。
- ・無理のない動きで、体を動かしていくことで、体をほぐし、体が硬くなることを防いでいる。

特徴的な内容

- ・毎週顔を合わせることで、励まし合い、交流の場となっている。
- ・ふだん動かさない筋肉を動かし、ストレッチすることで、身体が楽になり、自身の健康増進・体力維持となっており、健康寿命の向上にもつながる。

成果・課題等

・ストレッチ終了時には参加者の皆さんからは、とても身体がすっきりとして、身体がとても軽くなり動きやすくなった。家に帰ってからも続けているなどの声が聞かれ、次年度も継続して続けてほしいと要望あり。参加者からの口コミで少人数ではあるが参加者も増えている。参加者の固定化も懸念されるが、広く呼び掛けて、継続事業としたい。

写真

事業名		事業テーマ	
食の集まり場「きらく食堂」		高齢者の生きがいがづくり	
事業費			
37,047円（事業費の内訳：報償費6,000円・材料費26,517円・消耗品費4,530円）			
事業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで作る楽しみ、食べる楽しみ、集まっておしゃべりできる集いの場 ・調理はボランティアが担当し、料理の希望者宅へ配食して食べていただく 			
事業の目的			
移動手段がなく食材の確保が困難で、食に対する関心が薄れがちな食生活に対して、自炊することの楽しみや、食べることへの喜びなど再確認出来たらと期待する。			
対象者		参加人数	
一人暮らしの高齢者等又は後期高齢者の世帯		50人	
開催期間		実施回数	
8/25(木)、10/20(木)、12/15(木)、2/16(木)		4回	
事業の内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・お好み焼き希望者の募集（チラシ配布） ・保健所への臨時営業出店の届け出 ・調理会場は自治振興センター調理室（手洗い、消毒など衛生管理の徹底） ・地域ボランティアが調理担当 ・キャベツ等の野菜は地域で余った余材の提供（SDGs） ・コロナ感染症対策等により食事は自宅に配食（発砲スチロールで保管、運搬） ・配食は対面の受け渡しが原則で安否確認と近況報告を受ける 			
特徴的な内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・余った食材を地域から頂くSDGsの取り組み ・お好み焼きは野菜たっぷり、健康的な料理 ・地域住民にボランティア活動を浸透させる ・配食時の声掛け、見守りができる 			
成果・課題等			
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者にとってお好み焼きを食する機会が少なく、おいしいと評判が良い。 ・食の集まり場をテーマとして調理会場で食事をしながらおしゃべりをする当初計画であったが、コロナの影響で集まることを回避してきたが、今後は集まりの場の工夫を行い食事会の開催を行いたいと考えています。 			
写真			
			
			

事業名	事業テーマ
比和の民族と歴史 講演会 三河内のカンナ流しの水源を求めて	郷土史の学習をとおしてのふるさと再発見

事業費

6,000円（事業費の内訳：報償費3,000円・需用費 資料作成・配布資料印刷費3,000円）

事業の概要

- ・比和自治振興区は比和町郷土史研究会と共催で郷土史研修や研修旅行を行っており、研修の成果を小中学校の郷土学習に役立てている。
- ・今回実施した講演会は講師が郷土史研究会会報「2021年発行37号、2022年発行38号」に寄稿した「三つ子山で発見した三河内のカンナ流しに利用していた水路横手跡やその発見から始めた井西山や福田頭の滝からの水路横手の調査結果」を元に、三河内や町内で鉄穴流しやたたらをどのように行っていたかなど先人の知恵や努力を紹介するものである。

事業の目的

- ・比和の歴史や文化と関わりの深い鉄穴流しがどのように行われていたかを知る。
- ・水路横手跡調査や赤色立体地形図から水路横手やカンナ流しの規模の大きさや地域の成り立ちを知る。
- ・先人の営みや努力を知ること地元愛を育てる。

対象者

一般

参加人数

21人

開催期間

11月13日（日）

実施回数

1回

事業の内容

- ・大きな川のない三河内地域でどうやってカンナ流しが行われていたのか、水源の謎に迫る調査結果の講演。
- ・三河内に引かれている水路について聞き取り調査を行い、その水源につながる井西山、福田頭に残る水路横手の調査状況を報告。
- ・調査結果やカンナ流しの痕跡などを地質図や赤色立体地形図を使いながら説明。

特徴的な内容

- ・赤色立体地形図を使うことで、実際には見ることでできない水路横手跡の全体像や三河内を囲む山麓のカンナ流しの痕跡を視覚で捉えることができた。
- ・振興区生涯学習部事業として実施し司会進行等を部会で行った。・講演会参加者になみかポイント付与した。
- ・講演のパワーポイントと配布資料は、調査に同行し調査物の記録を行った振興区職員が行った。

成果・課題等

- ・比和町郷土史研究会の調査活動や提案資料作成などに振興区事務局や振興区部会が関わっており、互いの強みを発揮し調査を進めることができた。
- ・今回のような地域の歴史学習が、各自治会単位で行われる小中学校の地域調査活動への協力に役立っている。
- ・講演会後に「よく分かった」と声をかけてくださる方が多かった。普段見えないものが見えたことが理解をより深めた。

写真

事業名	事業テーマ
運動習慣プラスワン	健康づくり

事業費

83,268 円（事業費の内訳：報償費 60,000 円・旅費交通費 23,268 円）

事業の概要

- ・毎月第3木曜日午後講師の指導のもと、椅子に座った運動を楽しみながら行う。

事業の目的

- ・椅子に座っても体を動かす習慣を身につける。

対象者

地域住民

参加人数

95 人

開催期間

4月12日（火）～3月16日（木）

実施回数

13 回

事業の内容

- ・椅子に座ったまま、講師の掛け声により運動する。

特徴的な内容

- ・椅子に座って行う運動

成果・課題等

- ・講師の指導により楽しく運動が続けられた。
- ・長期にわたり実施してきたので令和4年度末で事業を終了する。

写真

連絡先一覧

地域	自治振興区名	拠点施設名	郵便番号	住所	電話番号 (内線)	Eメールアドレス
庄原	庄原市庄原自治振興区	庄原自治振興センター	727-0013	庄原市西本町 2-17-15	72-3777 (3002)	shobara-ziti @peace.ocn.ne.jp
	庄原市高自治振興区	高自治振興センター	729-5811	庄原市高町 821-4	72-0935 (3050)	taka.jichi.ss @gmail.com
	庄原市本村自治振興区	本村自治振興センター	727-0623	庄原市本村町 1234-1	78-2743 (3060)	hon.jichi @gmail.com
	庄原市峰田自治振興区	峰田自治振興センター	727-0622	庄原市峰田町 1445-2	78-2849 (3070)	mineta.jichi @outlook.jp
	敷信自治振興区	敷信自治振興センター	727-0014	庄原市板橋町 203-6	72-0571 (3080)	shinou.jichi @gmail.com
	庄原市東自治振興区	東自治振興センター	727-0023	庄原市七塚町 11-2	72-2854 (3090)	higashi722854 @gmail.com
	庄原市山内自治振興区	山内自治振興センター	729-6131	庄原市山内町 813-4	74-0451 (3100)	yamanouchi.jichi @gmail.com
	庄原市北自治振興区	北自治振興センター	727-0203	庄原市川北町 154-3	72-0564 (3110)	kita.jichi.ss @gmail.com
西城	西城自治振興区	西城自治振興センター	729-5722	庄原市西城町 大佐734	82-2175 (3810)	saijyo.jichi @gmail.com
	八銚自治振興区	八銚自治振興センター	729-5601	庄原市西城町 小鳥原615-1	84-2363 (3820)	yahoko.jichi @u-broad.jp
東城	東城自治振興区	東城自治振興センター	729-5121	庄原市東城町 川東1188-2	2-0487 (2466)	tojyo @aioros.ocn.ne.jp
	小奴可の里自治振興区	小奴可自治振興センター	729-5502	庄原市東城町 内堀1100-1	5-0057 (3310)	onuka @vesta.ocn.ne.jp
	八幡自治振興区	八幡自治振興センター	729-5456	庄原市東城町 森2668-2	4-0205 (3320)	yawata @vesta.ocn.ne.jp
	田森自治振興区	田森自治振興センター	729-5127	庄原市東城町 粟田1715-1	2-0661 (3330)	tamori @vesta.ocn.ne.jp
	帝釈自治振興区	帝釈自治振興センター	729-5244	庄原市東城町 帝釈未渡2021	6-0055 (3340)	taishaku @vesta.ocn.ne.jp
	久代自治振興区	久代自治振興センター	729-5122	庄原市東城町 久代2105-1	2-0148 (3350)	kusiro @vesta.ocn.ne.jp
	新坂自治振興区	新坂自治振興センター	729-5132	庄原市東城町 三坂330	2-2252 (3360)	shinsaka @vesta.ocn.ne.jp
口和	口和自治振興区	口和自治振興センター	728-0502	庄原市口和町 向泉934-4	87-2213 (3620)	kuchiwajichi @gmail.com
高野	庄原市上高自治振興区	上高自治振興センター	727-0402	庄原市高野町 新市1283	86-2214 (3900)	kamitaka.zichi @gmail.com
	庄原市下高自治振興区	下高自治振興センター	727-0423	庄原市高野町 下門田8	86-2679 (3910)	simotaka8 @gmail.com
比和	庄原市比和自治振興区	比和自治振興センター	727-0301	庄原市比和町 比和1119-1	85-2600 (3701)	hiwa.jichi @gmail.com
総領	庄原市総領自治振興区	総領自治振興センター	729-3703	庄原市総領町 下領家278	88-3067 (3502)	info @souryou-jichi.net

市市外局番 0824 (東城地域 08477)

生涯学習事業実践事例集

～自治振興区で行う生涯学習事業～ (令和4年度事業)

令和5年12月発行

庄原市教育委員会 教育部生涯学習課生涯学習係

〒727-8501 広島県庄原市中本町一丁目10番1号

電話: 0824-73-1188 e-mail: syogaigakusyu@city.shobara.lg.jp

